



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月28日

上場会社名 広栄化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西本 麗
 問合せ先責任者（役職名） 理事経理室長（氏名） 浜辺 昭彦 (TEL) 03-6837-9304
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第3四半期の業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,899	△6.3	1,292	△3.4	1,394	△4.1	1,389	42.1
2020年3月期第3四半期	13,760	0.4	1,337	12.4	1,453	4.6	978	1.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	284.11	—
2020年3月期第3四半期	199.94	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,024	21,694	65.7
2020年3月期	29,802	20,997	70.5

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 21,694百万円 2020年3月期 20,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△2.9	1,500	△19.1	1,600	△20.7	1,700	8.4	347.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	4,900,000株	2020年3月期	4,900,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	8,805株	2020年3月期	8,754株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	4,891,224株	2020年3月期3Q	4,891,394株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、政府による経済対策等により生産や個人消費に回復の動きがみられましたが、再び感染が広がり、先行き不透明感は一層強まりました。

当社製品関連分野におきましては、ファイン製品関係は、欧州向けの医薬中間体や新型コロナウイルス感染症治療薬原材料の販売など、医薬関連需要が堅調に推移しましたが、機能性化学品及びその他ファイン製品は、国内関連需要が減少しました。化成品関係では、新型コロナウイルス感染症の影響から塗料・樹脂など国内関連需要が大幅に減少しました。

このような情勢のもとで、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は128億99百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。利益面では、新型コロナウイルス感染症治療薬原材料など、収益性が高い医薬中間体の販売増加や原料コストが低下しましたが、修繕費や減価償却費の増加により、営業利益は12億92百万円（前年同四半期比3.4%減）、経常利益は13億94百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。四半期純利益につきましては、株式売却による特別利益6億96百万円を計上した結果、13億89百万円（前年同四半期比42.1%増）となりました。

(部門別売上高)

(単位：百万円)

部門	製品グループ	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品部門			%		%		%
	医農薬関連化学品	4,686	34.1	5,295	41.1	609	13.0
	機能性化学品	(注)5,042	36.6	4,786	37.1	△255	△5.1
	その他	1,599	11.6	1,205	9.3	△394	△24.7
	計	11,328	82.3	11,287	87.5	△41	△0.4
化成品部門	多価アルコール類	2,223	16.2	1,456	11.3	△767	△34.5
	その他	(注) 208	1.5	156	1.2	△52	△24.9
	計	2,432	17.7	1,612	12.5	△819	△33.7
	合計	13,760	100.0	12,899	100.0	△860	△6.3

(注) 従来、化成品部門のその他に含めていた自製ホルマリンの売上高は、第1四半期会計期間からファイン製品部門の機能性化学品に含め表示しております。これに伴い、前第3四半期累計期間における自製ホルマリンの売上高331百万円を、化成品部門のその他からファイン製品部門の機能性化学品に組替えております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛金及び預け金などが減少しましたが、棚卸資産の増加などにより、前事業年度末に比べ1億96百万円増加の139億67百万円となりました。

固定資産は、株式売却により投資有価証券が減少しましたが、ファイン製品製造設備の新設など建設仮勘定の増加により、前事業年度末に比べ30億25百万円増加の190億56百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ32億22百万円増加し、330億24百万円となりました。

(負債)

流動負債は、未払法人税等及び設備撤去引当金などが減少しましたが、設備関係未払金の増加などにより、前事業年度末に比べ5億70百万円増加の66億51百万円となりました。

固定負債は、ファイン製品製造設備の資金調達により長期借入金が増加し、前事業年度末に比べ19億54百万円増加の46億79百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ25億24百万円増加し、113億30百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより、前事業年度末に比べ6億97百万円増加の、216億94百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の70.5%から65.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、2020年10月29日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288	630
売掛金	5,419	4,677
商品及び製品	4,413	5,051
仕掛品	1,330	1,340
原材料及び貯蔵品	1,555	1,459
預け金	400	300
その他	363	508
流動資産合計	13,770	13,967
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,916	5,992
機械及び装置（純額）	4,478	4,781
建設仮勘定	1,483	3,751
その他（純額）	1,714	2,475
有形固定資産合計	13,592	17,000
無形固定資産	163	154
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,279	1,906
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,274	1,901
固定資産合計	16,031	19,056
資産合計	29,802	33,024
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,660	2,723
短期借入金	850	850
未払法人税等	572	356
賞与引当金	155	—
設備撤去引当金	153	42
受注損失引当金	28	3
その他	1,660	2,674
流動負債合計	6,080	6,651
固定負債		
長期借入金	—	2,000
退職給付引当金	1,869	1,901
受注損失引当金	21	54
その他	833	722
固定負債合計	2,724	4,679
負債合計	8,805	11,330

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	16,111	17,060
自己株式	△13	△13
株主資本合計	19,991	20,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,005	753
評価・換算差額等合計	1,005	753
純資産合計	20,997	21,694
負債純資産合計	29,802	33,024

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,760	12,899
売上原価	10,186	9,288
売上総利益	3,573	3,611
販売費及び一般管理費		
発送費	275	244
給料手当及び賞与	709	781
退職給付費用	51	44
試験研究費	667	689
その他	532	559
販売費及び一般管理費合計	2,236	2,318
営業利益	1,337	1,292
営業外収益		
受取配当金	55	45
受取補償金	130	104
雑収入	4	2
営業外収益合計	189	152
営業外費用		
支払利息	3	8
為替差損	7	39
固定資産除却損	57	—
雑損失	5	2
営業外費用合計	74	50
経常利益	1,453	1,394
特別利益		
投資有価証券売却益	—	695
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	696
特別損失		
固定資産除却損	15	73
設備撤去引当金繰入額	16	—
特別損失合計	31	73
税引前四半期純利益	1,422	2,017
法人税等	444	628
四半期純利益	978	1,389

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。